令和元年度一般会計決算

対前年度比 5．3％増 94億9192万円

庁舎建設事業等の大型事業に対する元金償還の開始などによる

工事中の、万行第１・第２団地（本庁舎屋上から撮影）

令和元年度一般会計決算の認定

○歳入決算額　96億8904万円

対前年度比、6億2101万円、6・8％の増。

○歳出決算額　94億9192万円

対前年度比、4億7988万円、5・3％の増。

歳入歳出差し引きの形式収支は1億9712万円となっており、翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支は1億7884万円となっている。

歳出の内訳で見ると、義務的経費は、人件費が人事異動等による職員給与の減少により減額となり、扶助費は前年度比較でほぼ横ばいであったが、公債費が、本庁舎建設事業等の借り入れに対する元金償還が開始したことなどにより増額となったことで、全体では、対前年度6980万円、2％増の36億41万円となっている。

投資的経費は、小中学校への空調整備事業や、防災まちづくり拠点施設整備事業の実施により補助事業分は増額となっているが、庁舎建設事業や避難道整備事業といった単独事業分が減額となっており、対前年度4392万円、2・5％減の16億7847万円となっている。

歳入の内訳は、一般財源では地方税が対前年度1722万円、2・0％減の8億2298万円となっている。

今後、新型コロナウイルス感染症に対応するため新たな生活様式を取り入れた業務を推進する中でも、一般財源確保に向けた各種の取り組みの強化やコスト意識の確立、業務の適正化を図っていくことが極めて重要となっている。

認定（全員）